

## 施工説明書

本施工要領書、及び取扱説明書の指示に従った場合のみ製品保証の対象となり、この製品に定められた性能とその安全性を保証するものとします。









### 1 安全上の注意

#### 1. 記号の説明

- 以下に示した注意事項は状況によって重大な結果（傷害・物損等）に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取り付け工事は、水道法、その他の地方自治体の法令、および地方自治体の条例、規則など各種法規に従って行ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認し、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方をお客さまに説明してください。

 「してはいけません」 一般的な禁止記号です	 「注意してください！」 必ず読んで、記載事項を守ってください
 「分解してはいけません」	 「指示通りにしてください！」 一般的な行動指示記号です

#### 2. 注意事項

-  修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。  
故障や水漏れの原因となります。
-  製品に強い力や衝撃を与えないでください。  
故障や水漏れの原因となります。
-  湯水を逆に配管しないでください。  
水を出そうとしたのに湯が出て、やけどをすることがあります。
-  同梱の部品以外は使用しないでください。  
故障や水漏れの原因となります。
-  寒冷地では使用しないでください。  
凍結により故障や水漏れする危険性があります。
-  温泉水には使用しないでください。  
温泉成分により器具が腐食する等の恐れがあります。
-  給湯の温度設定は 80℃以下にしてください。  
水栓の故障またはやけどの防止になります。
-  各接続部は確実に接続してください。  
確実に接続されていないと、水漏れの原因となります。

### 2 本製品の仕様と使用条件

給湯設定温度	80℃以下
使用可能水質	飲用可能な水道水（温泉水不可）
給水、給湯接続	G 1/2
取り付け条件	本体重量 11kg に十分耐えられる下地であること。

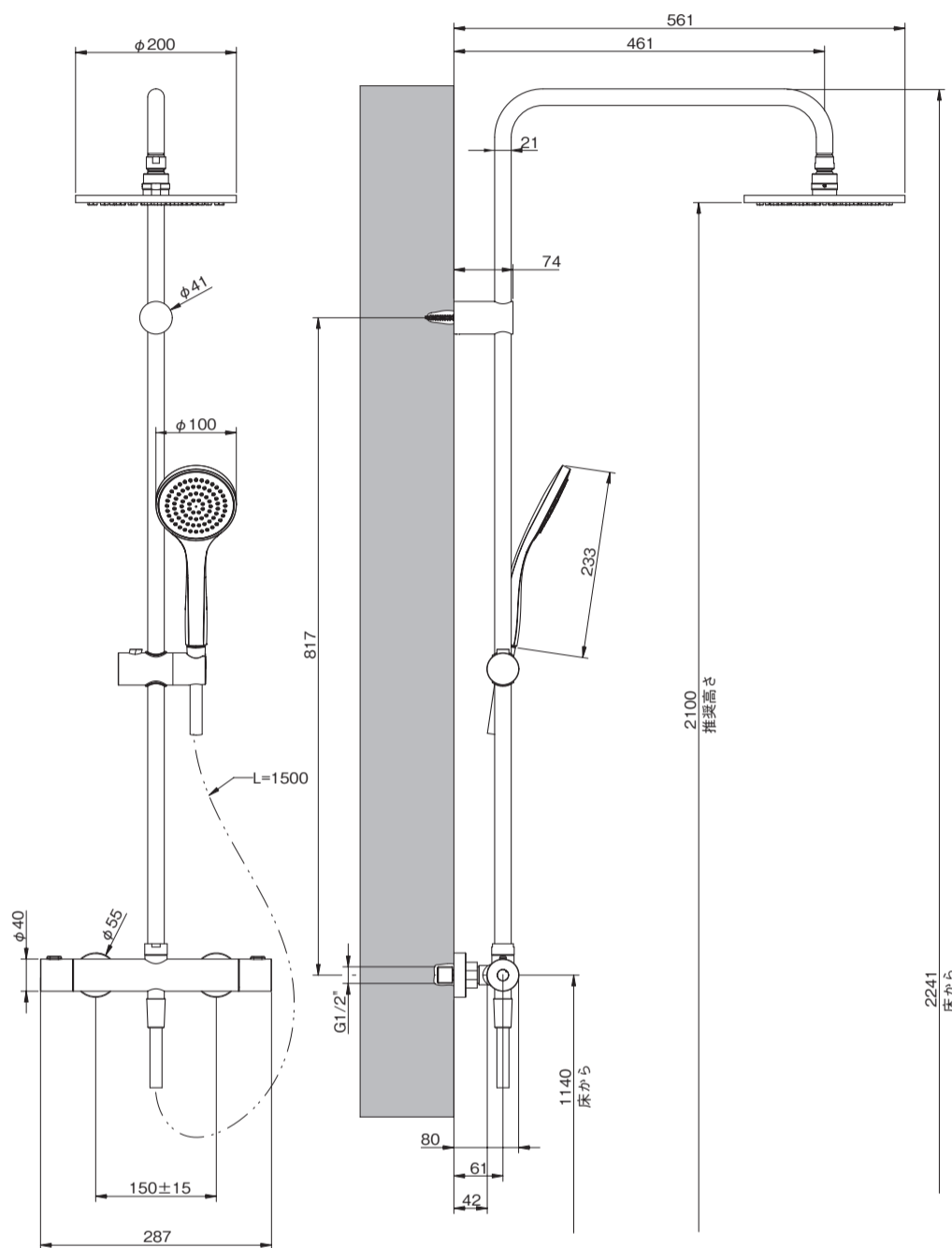
#### 使用条件：

- \*セーフティブロック 38℃
- \*使用最低温度 3℃以上—適温 15℃—給水
- \*使用最高温度 80℃以下—適温 65℃—給湯
- \*使用温度差 50℃以内 但し、内部の水を凍結させないでください。
- \*最低必要圧力 / 最高圧力：0.05MPa/0.5MPa（給水圧力が 0.5MPa を超える場合は、市販の減圧弁を取り付けることをお勧めします。）
- \*給水圧力 0.3MPa を推奨。

### 3 施工上の注意

器具を取りつける前に必ず給水・給湯管内のごみ、溶接時の破片や麻糸またはその他の異物が管内に残らないよう完全に取り除き管内をよく洗い流してください。管内の不完全な洗浄や一般の給水網を通して器具の中に異物が混入すると故障の原因となることがあります。



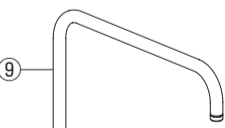

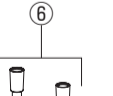
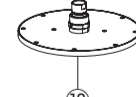


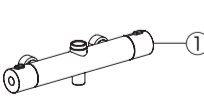

#### 寸法図



### 4 本体取り付けの前に

#### 1. 梱包内容

梱包にはイラストのパーツが含まれています。開梱時にご確認ください。

		
		
		
		
① ミキサー	⑥ シャワーホース	
② (偏心継手+パッキン+カバー) × 2	⑦ 固定プラグ	
③ スライディングバー (下)	⑧ 壁掛け固定金具	
④ ハンドシャワー支持金具	⑨ スライディングバー (上)	
⑤ ハンドシャワー	⑩ シャワーヘッド	

## 2. 給水・給湯管内の清掃について

止水栓を取り付け後、当商品を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがカートリッジ等に詰まり、以下の事象が発生します。

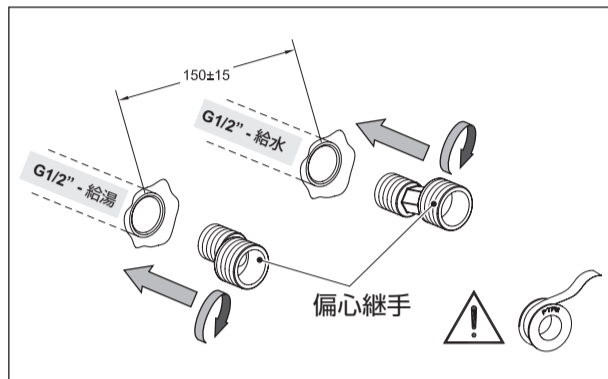
1. 吐水量が少ない
2. 温度調整がうまくできない

**給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。**

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続し、止水栓を開閉してフラッシングを行い、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。

## 5 施工手順

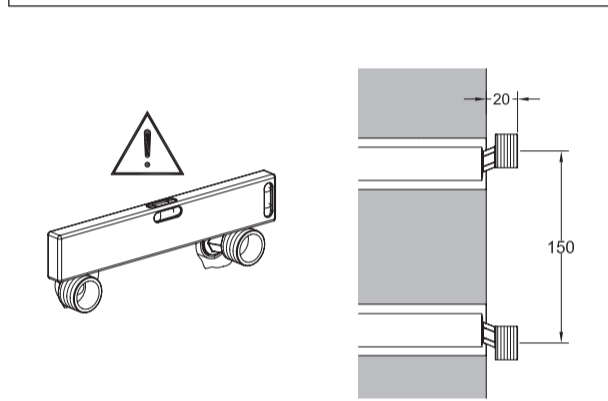
### 1. ミキサーの取り付け



① 偏心継手を給湯・給水管に取り付けます。

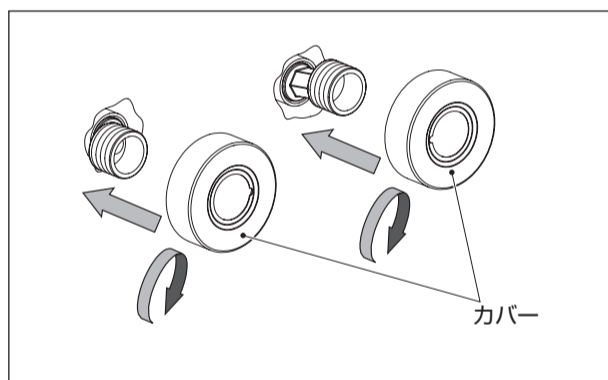
#### ⚠ 注意

接続部はシールトテープ等をご使用ください。

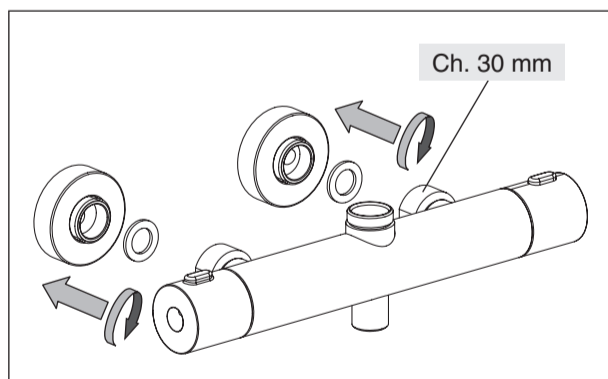


#### ⚠ 注意

給湯側と給水側の偏心継手が水平になるように取り付けてください。また、給湯側と給水側の偏心継手のピッチは150mmとし、壁から20mmの前出寸法となるように取り付けてください。

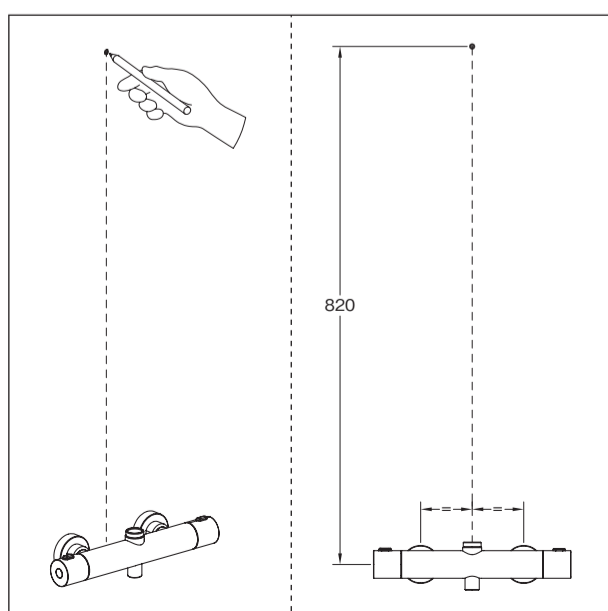


② 偏心継手にカバーを取り付けます。

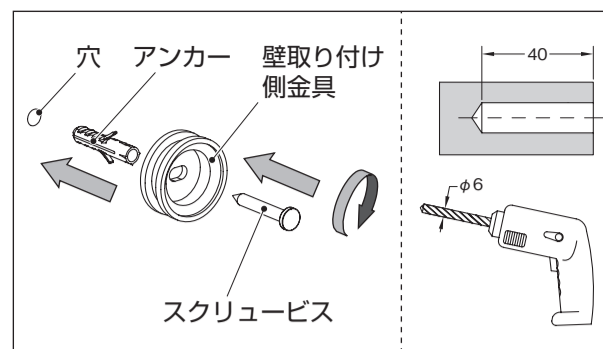


③ ミキサーを取り付けます。

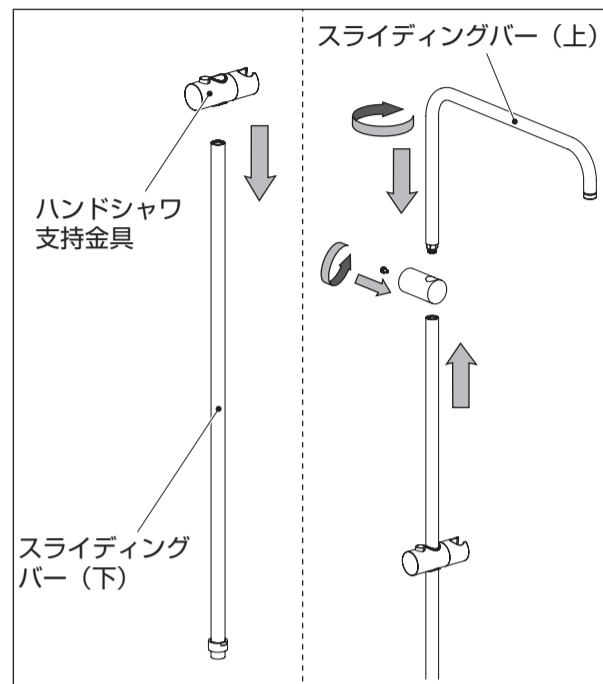
### 2. 本体（スライディングバー）の取り付け



① 壁掛け固定金具取り付け用の穴位置に印を付けます。

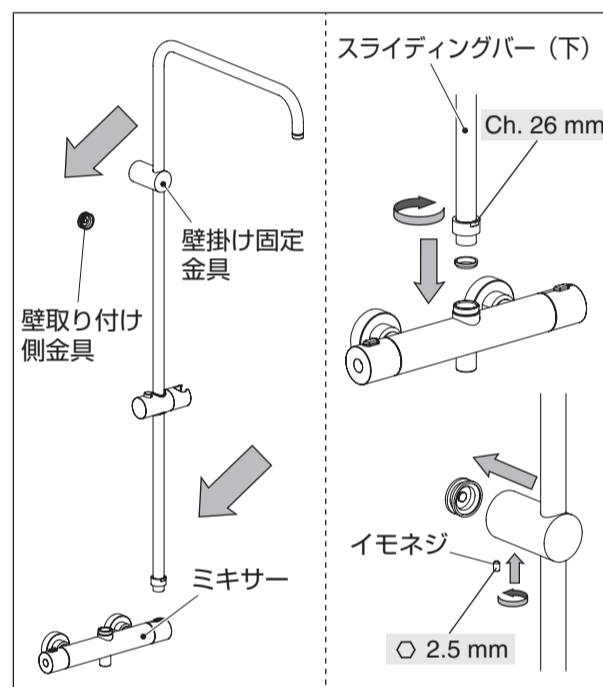


② ①で付けた印の位置にφ6mm 深さ40mmの穴を開けます。穴にアンカーを挿入後、スクリュービスを使用して壁掛け固定金具の壁取り付け側金具を固定します。

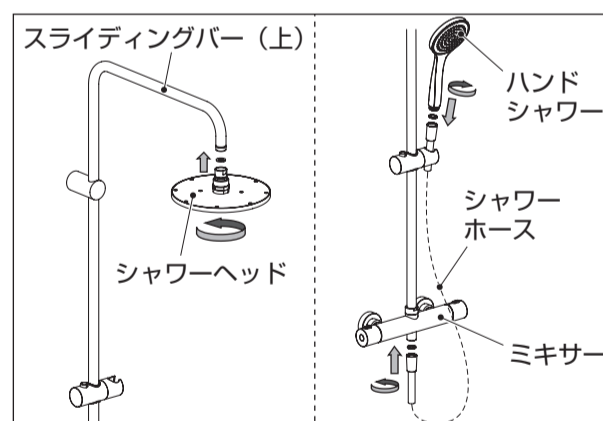


③ スライディングバー（下）にハンドシャワー支持金具を取り付けます。

④ 壁掛け固定金具に、スライディングバー（下）を下から差し込み、ビスで固定します。スライディングバー（上）は壁掛け固定金具に上からねじ込み、取り付けます。



⑤ スライディングバー（下）をミキサーにねじ込んだ後、壁取り付け側金具に壁掛け固定金具を差し込みイモネジで固定します。



⑥ スライディングバー（上）にシャワーヘッドを取り付けます。ミキサーにシャワーホースを取り付けます。シャワーホース反対側にハンドシャワーをねじ込んで取り付けます。

## 6 引き渡し前の確認

工事が終了したら、各部にゆるみがないか確認し、湯・水の止水栓を開けエアレーターを清掃して、各部に水漏れがないか、動作は正常かを確認してください。

現象	点検内容	処置
流量が少ない	圧力は十分か？	☑ 使用条件参照
	止水栓は十分開いているか？	流量の調節
	エアレーターにゴミ詰まりはないか？	エアレーターの掃除
	配管途中に大きな抵抗はないか？	配管の系統を確認する
水が止まらない	ゴミかみはないか？	ハンドルと止水栓の開閉でフラッシングをする
希望の温度が得られない	圧力は十分か？	☑ 使用条件参照
	流量調節はよいか？	止水栓で流量の調節
水栓本体がガタつく	ゆるみはないか？	☑ -2 本体の取り付け参照
ハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	固定ビスを締め直す ※